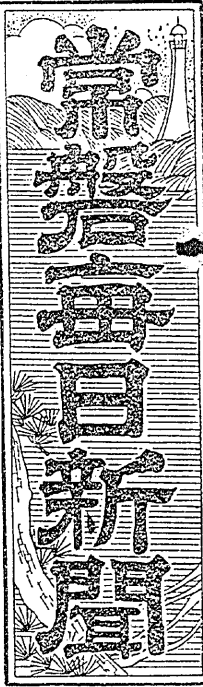


刊夕 日三月五



定価 二部全紙 月金五拾枚 郵費五厘
廣告料 五號十二字 行金五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毒目新聞社
印刷所 常磐毒目印刷株式会社

(大衆文藝)

蜘蛛失心譚

本津 茂太郎

(三)

「この斧は新七とか云ふ若
え侍の血を吸うんだ！その
斷末魔の聲を聞いたらお伊
那さんは如何な表情をする
かしら考へて見りやアお伊
那さんも哀想みてえだ。
だが俺ア俺ア新七を殺さね
ば氣が濟まねえんだ！」

頂上になう〜来た。

桐助は楽しさうに語つて
ゐる二人を見ると、忽ちか
あつとした。

「やい、新七とか云ふ野郎
！」

「やい！」

と新七はおどろいて立つ
た。

お伊那は何時もの様に
つこりして

「まあ、誰かと思つたら桐
さん！」

「やいッ、生ッ白い奴！動
くなッ！」

「どういふわけだ」

「何イ？畜生、俺はどうし
ても貴様を叩つ殺すんだッ
！」

「さうか、よし！理由は判
らぬが、それでは果し合を
致そう」

と云つて新七は刀を抜か
うとした。

お伊那は驚いた。

「お止しなさい新さま」

「でも、此奴！」

「お止しなさい」

お伊那はにつこりして桐
助に近寄つて来た。お伊那
の手にはいつの間にか蜘蛛
がとらへられてゐた。

突然「ほら」と云つたかと
思ふと、一匹の蜘蛛が宙を
飛んで、桐助の上に落ちて
来た。

「わつ！」

桐助は色を變じて飛び上
つた。蜘蛛は桐助の肩に止
まつてゐる。

お伊那と新七とはそれを
尻目にかけて丘を下りて行
くのだった。

「た、助けて——」

桐助は蒼くなつて駆け廻
つた。そして遂に尻餅を突
いてしまつた。

桐助の眼にはキラリと涙
が光つた。ボロ〜と頬を
ながれた。

蜘蛛が地上を這つてゆく
それを見乍ら桐助は泣い
てゐた……。

もう二人の姿は見えな
かつた。

小鳥が何處かで囀つてゐ
る。

【完】

一九三三・一・二十作

一九三二・二・二十四

初筆



彼女

山崎曉舟

彼女が誰れかれをとらへて
戀の迷懷をしないといふの
は胸裡に部厚な手帳を秘
めてゐるからです。

書きためられた

『彼の言葉の神秘よ！
それは他の女たちにはつま
らなくとも

彼女にとつては

お城の芝生の上の月光のや
うに

やさしく、美しい

妖精たち——四月の夕べの
微風——が彼女のなかへ

睫毛にからまるとき

このさゝやかな喫茶店へ集
ふ人々の足が一寸とぎれる

時 サモワルのかけ

暗紫色の電燈の下

假面をぬへで、瞳をうるま
せて

さて、たんねんに繰られる
頁です

鈴木齒科醫院

平町 田町

電話五八番

旭硝子株式會社製板ガラス

赤菱印
葉子 壇
硝子 食器
其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電五九七番)

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平町町九六
喜多流 謠曲 白土會
電話一二七番

詳細は本會へ御問合せ下さい

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五二三番
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

是非!

御融通には御利用下さい
萬事便利な御相談に應じ
ます

三井質店

平四・電六〇六番

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します

親切に 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭にお留守居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や 雑用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話呼六五二)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

全外 小兒科 内科

醫學博士 渡部 義夫
女 醫 渡部 さい子
平町田町大通り(電話二七七番)

吸入用酸素純度99%

度量 モノサシ
ハカリ
寒暖計

關内藥局

電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス

平町民待望の

古川改修實現

本年度六方圓割當

けふ關係町村長鼎座として

潰地買收協議

二年各級對抗籃球試合及び三年四年對抗排球試合を行つたが成績左の如くである (籠球) 一二年一組、二

平町南裡一帯の水害を根本的に一掃する故を以て待望されつゝある古川改修の工事計劃は平町側猛運動の念願達成し愈々夏井川改修の

延長として着手する

事に主務省の意嚮決定、先づ工事を本年度より向ふ三ヶ年の繼續事業として決行する事に縣廳側の諒解を得たが同工事は當時處報の如く古川の

河底を

内郷村御臺境の鐵橋附近より新川を分流し同ヶ處下流の新川を埋立つる大計劃にて是れが本年度として先づ六萬圓の割當あつた爲め本日午後一時來平せる縣土木課の遠藤

技師を

え青沼平町長、伊藤飯野村長、沼田内郷村長の三氏鼎座して潰地買收其他重要基礎協議を遂げた

警女球技

昨日各對抗

警女では昨日午後一時

蘭荷奪取に

鐵道側進出

購買所代表と

會見して協議

郡下の産蘭は來月中旬頃より出廻るが最近トラックの進出により鐵道輸送が年々驅逐される一方であるので鐵道當局では今回これが對策として各農産家に鐵道輸送の如何に有利なるかを説明したパンフレットを配布して鐵道利用方を鼓吹普及

平驛の貨物

相も變ららず

増加の一方

平驛貨物取扱所の四月一櫻花とも訪れた明朝の春に拍車をかけて頗る好成績である、發きは

木材一四三噸 鐵類 鐵製品 銅鐵二一九噸 木炭一四四 鹽一〇五 肥料六五 等を主なるものとして合計七千二百三噸で此收入八千五百三圓割當は 果實一九一 木材五三八 石材一三五 石油一三八 鹽一八〇 砂糖一四七 鐵製品二九〇 鉛管一四 肥料二四九 石炭一

平商健兒が疾走

創立記念日に勇躍して

既報平商業學校では來る十日の創立記念日には全校生徒が同校と草野村立餘神社間の往復マラソンレースを行ふがコース順は左の如くである 午前九時裏門出發 攝植小路 本町 鎌田 鹽 神谷 駐在所

巡回診療日割

平署駐在巡回診療班では來月十五日より左記日割で郡内診療を行ふ 十五日鹿島 十六日箕輪 十七日永戸村 十八日川前村 廿日貝泊 廿一日 荷路夫 廿二日石住

牝馬購入補助金

十五氏に分配決定

石城産馬畜産組合では過般農林省に對し八年度種牝馬購入補助獎勵金を申請したが昨日六百圓交付決定の旨通知あつたので左記十五氏に分配することになつた 永戸薬谷市一、三坂安部 千年、岡田留治、田子三郎、大竹治郎、草野長市 小牧長義、上遠野負良、小宅眞一、田人小宅トミ 田岡正、緑川博、磐崎高木一男、上遠野姪田瀧太郎、櫛田庫

平商の

月謝心得

保護者に通知

平商業學校では本年度より實施される新學則に就いて此程各保護者に對して通知を發したが是れに依ると從來學校の授業料は町内月三

圓五十錢町外四圓であつたのが各々廿錢づゝ増額された外生徒の全月に亘る缺席は授業料を徴收しなかつたのが休學許可者以外の缺席するとの事である

和田中將來平し

平商で軍事講演

平商業學校では來る九日午後一時より同校講堂に於いて在郷軍人東京本部理事和田龜治中將を招いて軍事講演會を開くと

好問中堅農民

好問 村の石城中堅農民講習生同窓生一同は石城郡中堅農民同窓會支部を設置する事に

美しい花の種子



巨大輪七寸咲朝顔が参りました 毎度御好評をいただき居ます 横濱植木會社の輸出向特撰種子です「草花種子の蒔き方」差上ります

西村屋藥房種子部 平2電3

魂の這入つた

フタバの自轉車で

フタバ式リヤカー發賣元

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

不意打ちに暴く

家庭の不始末

兒童の体に證據が歴然

春に浮れた家庭に警鐘

平第一小學校では最近各家庭が花見や其他春の陽氣に煽られて兒童の服装その他身体の傷害等を等閑に附し結局教育上にも多大の影響を免がれない状態にあるのに鑑み昨日

全校生徒

一千四百三十四名に對し不意打ち的に服装及び身体検査を行つたところあるはあは手拭ハンカチを持たず着物でハナや汚れを拭ふ者八十一名を筆頭に口腔の掃除の行き届かない者百十九名、服や着物の綻び切れたのを着て平然としてゐるもの

平町出陳の

こけし人形

大阪で大受け

東北銘産品展覧會は先月二十日から十日間に亘つて大阪市三越支店で開催された平町からは箆筒、玩具等二十數点を出品して大いに平地方の名産品の紹介に努めたが中でも十五丁目佐藤木

工所製作玩具「木製こけし」の珍奇な形態が都會人の好奇心をそそつたか一点を除くのみで賣切れの大人氣を博して好成績を収めたと山間地聯合青年會 永戸

三十六名、耳だれの激いのが七十名、鼻たらし小僧が三十名、頭髮がのび過ぎたのが二十八名、眼脂のたまつた朝寝坊が十名あつた

最も遺憾

だつたのは劍戟ゴツコの祟りか手足顔に傷付いた儘何の手當も施して居ない者が五十名を超へてゐたこと之等は全べて保護者達が他に心を奪れて我子のことを忘却した結果からと見られ學校では家庭に於てこれらを充分注意してゐてほしいと語つてゐた

一夜の稼ぎ

僅かに三圓

年々淋れ行く

平の貸座敷業

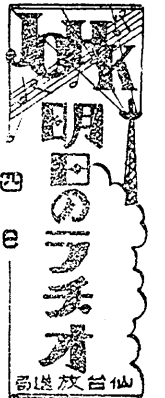
黄金時代も今は夢

鎌田遊廓には現在六軒の貸座敷業者が營業を續けてゐるがこれ等業者の九年度貸座敷賦金の

四月分は 六十九口九十四錢で娼妓賦金は五十八圓七十四錢、前年に較べて

貸座敷賦金は九圓五十二錢娼妓賦金は十三圓九十三錢の共に減額を示してゐる尙同遊廓に夕に越客を迎へ朝に吳客を送る所謂

源氏の君 は豆樓住吉樓の七人を横綱格として合計二十六人あるが、これら娼妓の数は往年の好景氣時代より年々減少の一途を辿つて現在に至り會ては一夜



明日のラジオ 今夜も明日も西の風晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
後六、二五 漢文講座
(八)菅谷軍次郎
後八、〇〇 長唄
後八、二五 哥澤「念が届いて」
淀の川瀬「芝澤哥

加美津
後八、四〇 箏曲「櫻村」佐々木松波外
後九、〇〇 ビアノ獨奏
井口基成
後九、三〇 時報ニュース
氣象通報 番組豫告

明日の部

前六、三〇 基礎英語講座
(十二)岡倉由三郎
前七、二〇 聖典講義「般若心經講義」(五) 高神覺昇
前九、一〇 料理献立「淺鰯の卵の花合へ」小林忠雄
後一、〇〇 家庭メモ
後一、〇〇 三五 家庭講座
後二、〇〇 浪花節「武士の娘」壽々木米若嬢

於て開催、終つて各團對抗の劍道、辯論、競技等を催すと

平第三小學校物置外五ヶ所より自轉車六臺を窃取せる宮城縣名取郡玉浦村生れ住所不定無職武田清太郎(三)の窃盜事件は昨日午後一時より平區裁判所法廷に於いて中島裁判長係り野木檢事立合のもとに開かれ檢事より懲役三年の求刑あり即決により二年六ヶ月の言渡があつた

前十時より平區裁判所法廷に於いて野木檢事係り關口判事立合のもとに開かれ懲役八ヶ月を言渡された
△去月廿五日内郷村大字宮字町田武井マス方で十丹賭博を行つた同村竹ノ内賭博常習犯渡邊勝安島瀧藏及び字瀬小畑盛(九)字竹ノ内佐藤繁三(三)郎字臺尾形政治(八)字金坂本田勇三郎(三)字町田安藤傳之助(九)鈴木武雄(三)高木直徳(三)字竹ノ内荒木キヨ(七)字町田鎌田武雄(三)等十二名は此程平區裁判所に於いて略式命令により五十圓から廿圓迄の罰金に處せられたが尙賭博常習犯渡邊、安島の兩名は近く公判に附される

平職業紹介所報告
求人を求める方
△炊事婦 四十一才位
△トラク助手 二十一才位
△トラク助手 高卒 月五、六圓
△トラク助手 高卒 月五、六圓
△小役員 十五才位
△小役員 年四十圓外仕
△農夫 二十一才位
△農夫 二十才位
△店員 二十才位
△店員 月十圓前後
△小役員 十四才位
△小役員 仕着初給二圓以上
△電氣機械工 三十四才
△トラク助手 十九才
△土工夫 二十七才 高卒
△旅館番頭 二十六才 高卒
△土工夫 四十二才 無學
△土工夫 二十二才 高卒

數十金を散じて太盡遊びに耽つた遊客も今はなく現在は娼妓一人の一夜の稼ぎが僅かに三圓内外といふ心細い状態不景氣の荒波をこゝだけで受けてゐる如くである

丸太棒で向ふ脛

僅か廿二錢の豆腐代を

支拂ぬので憤がい

植田水力電氣會社倉庫に去る一日午後九時頃賊忍び入り銅線十一貫目價格十數圓を窃取した者があるのを目下植田署で犯人捜査中

平町胡摩澤豆腐屋坂谷菊美(四)は去月二十四日午後四時頃赤井川瀨炭礦猪狩寛治(五)方に二十二錢の豆腐代を催促に行つたところ金を

市原醫院
平町 田町
電話一四番

電話一四番

近新新聞

(雑誌上段及上段)

田邊南龍(作)
山本英春(畫)

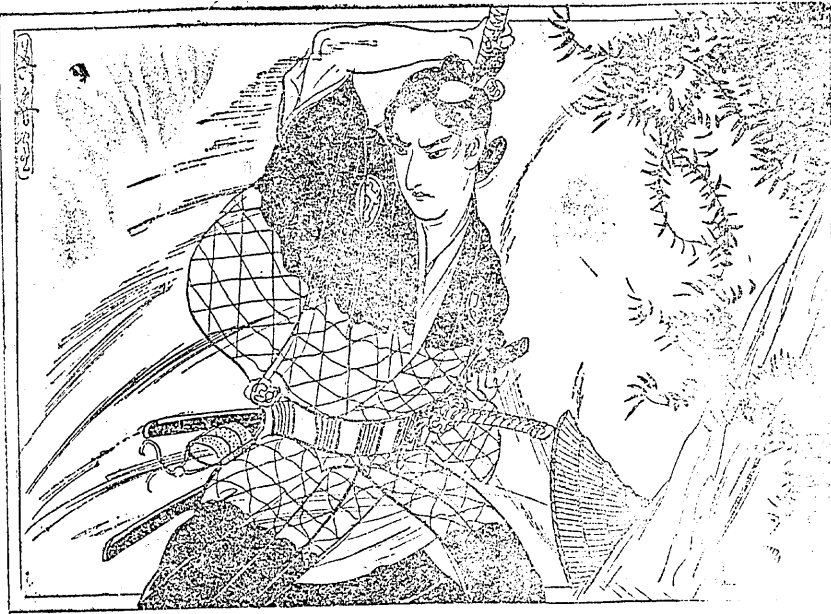
二二

助八は返り討

助七、助八の兄弟は屈せず
明暮心を盡してねらつてを
りました、さうとは知らず
權八は相變らず小紫の處へ
通つてをりますが、此の頃
大門口の茶屋や夜明しの呑
み屋などで
『且那今しがた貴所を尋ね
ておいでの御浪人がありま
した』
とか

『貴所の事を聞いてゐる小
間物屋がありました』
などいふ事をチヨイ

がどうも分りません、何か
人違ひであらうと、氣にも
とめずにをりました、あ
る日、さぬの袖の香を
上野の朝風に吹かせながら
下谷坂本の通りを來ると、
向ふから荷籠を背負ひ、此
方を差して來る小商人があ
る、見るともなしに笠の内
からヒヨイと見ると此は如
何に、本庄助太夫の乙の子
本庄助八だ、あつと驚いた
が扱ては此の頃耳にする拙
者を尋ねて廊へ入込む小間
物屋と云ふは此奴だ、今
一人の浪人者といふは兄の
助七に相違ない、此奴等兄
弟のある内は、枕を高く寝
ることが出来ない、我が目



に觸れしは彼の災難、此方
の仕合せ、觀念しろと北叟
笑んだのを哀れにも助八は
少しも知らない、權八は行
違つて少しやり過ぎし、ヒ
ヨイと振向くと刀は名に負

了つた、其の早い事風のや
うだ、アレよといふ内
には權八横丁へ曲つて姿を
消して了つた、夫から兩三
日経つて大膽不敵の平井權
八、坂本の通りの水茶屋へ
來て縁臺に腰を下し、茶を
飲みながら
『女房、先日此の邊に人殺
しがあつたといふ噂を聞い
たが眞實か』
と空とぼけて尋ねた、女
房は眞道に是が人殺しの當
人とは思はないから

ふ千子村正、牙えたる手の
内、抜くより早く
『エイッ』
後袈裟に只一太刀、往來
の者は、ハツと思ふ間に、
助八が二つになつて倒れる
其の内一方は刀を鞘に納
めて半丁餘りも先へ行つ

『左様でございます、ツイ
此の先で一人の商人が、通
り掛りのお武士に斬られま
して夫はモウ大變な騒ぎで
ございました』
『夫は氣の毒、シテ何か斬
れた男の素性は分つてるか
當座の住居など、相分つた

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は生命なり

看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

花柳病科 小兒科 内科

藤沼醫院

町屋七番 電話五〇七
平町 電話五〇七

吉田眼科病院

平絹屋町電話六六番

眼科専門
院長 吉田安雄
醫學士 吉田久雄

父房之助儀永らく病氣中の處療養不
相叶本日午前一時死去仕候間此段御
通知申上候

追申 葬送の儀は來る四日午後一時自宅出棺
性源寺に於て佛式を以て執行仕候
昭和九年五月二日

副子 佐藤芳松
親戚代 山崎與三郎
佐藤千之助
吉田野慶吉
草野慶吉
齋藤榮吉
矢吹大輔

友代 總代 矢吹大輔

漆器の御用は皆様の
丸共へ御用命下さい……
卸賣特に御務め勉強致します。

景品賞品類
進物贈答品
恩賜賞品
記念表彰品
各産漆器

共榮漆器店
平町三丁目北裏通

店員募集
本年尋卒 仕着 小使月三圓
同高小卒 仕着 小使月五圓
外交員十八九才より三十才迄

春！
カメラファンの
活躍期です

MSカメラ
平 前
いづみや玩具店
りメラ部